

解題

作見区有文書

【作見について】

作見は長野市篠ノ井二ツ柳に属する地域である。

二ツ柳の地名はすでに中世に見られる。江戸時代になると、更級郡の一村としてあらわれる。作見は二ツ柳村の枝村である。

明治七年には、正和村の一部となり、明治十四年に分立して二ツ柳村となる。明治二十二年には川柳村の一部となり、昭和二十五年篠ノ井町、昭和三十四年篠ノ井市を経て、昭和四十一年に長野市となる。（『角川日本地名大辞典 長野県』角川書店 一九〇〇年）

【伝来の経緯】

本文書群は、作見区の区長の引継ぎ文書である。作見区から長野市立博物館が寄託を受けている。

【文書群の特徴】

江戸時代の文書がわずかと、川柳村役場の文書などからなる。